支那軍が時に反し撤退七四時は職。午前一時盈に不通となたつ

司令部發表

兩軍對峙の儘

に思いて抵抗をついけてみた支那 北平八日同盟] 藏滿姓兵二四五

ふ交を火砲軍兩支日

省中の我豊台部隊に を嚴重監視中支那兵の出様



長辛店附近より他兵を変へた増援隊を得て長辛店附近より他兵を変した増援隊を得て、これよりさき龍王廟事員林耕宇氏がをりたるをもつてこれを同行して蘆溝橋に赴りたるをもつてこれを同行して蘆溝橋に赴りたるをもつてこれを同行して蘆溝橋に赴りたるをもつてこれを同行して蘆溝橋に赴りたるをしたるに、これよりさき龍王廟事員林耕宇氏がをりたるをしたると、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の東西には、一方北平部隊の東西には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の森田中には、一方北平部隊の東西には、一方北平部隊の東西には、一方北平部隊の東西には、一方北平部隊の東西になる。 直ちに演習を中止し

"ものの如し、なほ鹿内准尉は青森縣出身、現在福島縣に本籍を有してをるおいて鹿内准 尉は名譽の戰死を遂げ、野地少尉も負傷したり、外に下七官我が軍も自衛上やむなくこれに應戦せり、時に午前五時半頃、爾後兩軍交

今曉又々支那兵が射撃

に英火を交ゆるに至った

たる確報によれば支那軍は

により我が國境監視部隊にやむな一逢げ、一隻兵空職保・同村上行権 新型氏の製田的五の不佳は原華(h)方も一些兵威村質は名誉の策死を

廿名を殪す

日底を崇けて陸服した、よつて我一般間において蘇聯軍兄を二十名を一職死した彼村一等兵は軍京府の出

仲理地に急行し、且下属相関在を き場地(経苗形

武装解除を堅持

新設省に移管

主義は感地悪い事を思ひだしたしになる。 その衣服が西花になるか、」

一九四二 四八十五 十五五 鏡鏡鏡

るみ脱いで往け、嫌なら踏み選す | ボ塩もいつしよくたにして、身ぐ

税は一方の足を飛ばして顕を

脱がなけれぬ

揃い、頭が割れる。1 干人柄の米代稼ぎ、どうだ。1

ちな頭でもあ

四億五千萬圓を突破か

物資の 需要調査

佐子ることになった、なは財、木林龍六項目の詳細なる需要調査 。 このはおての就みであるだ。 帯調査として極近の東外東京の別 の動資需要調査の命を受け、を行ひ、財産局に関年度異常の別

動に記念する記念事業打合のため

ゐたが密観質の顧査と新任各局長

能験の内が原大の問題を、蘇

(1.1)

+×

勢郎

やらないのだ。 おみが、段

『今晩がはじめてだな、刀を脱い

美ふちやな



のびよく

つきよく

お化粧下にも

素敵です

メンソレータム 外から守る 夏の健康を





















































































在滿百萬同胞の教化指導上 最高頭腦として活躍

Oが自動性は逆に前継、在「第自第一をみる情報であるが、朝鮮人の知 町湖の空を明功 - 色に結んでゐ |過程長期の節語||知は今や笹図||の朝鮮人の教化、指導のため職集、耶能師は之が成績であり提場首と 鮮湖一如に拍爪をかけると共 近、先きに頭洲國の初代名一のとその遠仕者をひそかに顕微中に多大の期待を掛いれてある。関 開京北京春川町に決定、九日建石 つて、それや初耳だよ、とにかず生能町は銀川市匹を振撃し鹿々 『エグ……僕が開東北の観問だであつたが今世半郎曹粲邦の婚問 報を ちたらして観料権配を訪って 軍に朝鮮人副間を一人置きたいもの朝鮮人からも異ぱれ同氏の今後



い、本はに決ったとしたらその時が話しよう」 きすがに盛しい様子であつた

十日府民館

中加京。 発示等, 再川宮倫縣以事、 東京等 大異動で気候した野村農林局長、

汚物を管で流す

六十三萬圓といふ巨費を投じ

| とこのでは、 一世の | 日午前七時五分月神経者、 同日に

局等法院で裁かれた

残忍な三つの事

少女凌辱、女房殺し、殺人强盜

京城府が秋に着工

能能には二百萬四の世界を助上實

赤痢を隱す患者

鍾路署では戸口調査

題の如くならず空午前三時一先づ

信が折削と協力して拠近につとめ たが陸間はけしき上に暗黒のため 万不明となってゐること判明、

無免許運ちやん

學童を轢く

右足骨折の重傷

馬車から落ちて

子供大けが

机屋の花らっきっ

西大門方面へ向よ途由的近で趣

でるた理報町四の一八硝十萬季草 * が自来を補成した場中をひいて 一八先を西米市町馬田挽口勘成 七日午後三時ごろ京城建築町四S

同タクの助字季世紀(な)で発許を 期間の軍傷を済はせた。加州青は 自動車が練き倒し石足が抗急治四一 行って居らず殺人運もやんを野政 順落、頭から門もの他に四十日

してゐるやらなものだと本町 | 題間位の欝鮮人女兒が捨てゝあつ

の玉四季得明さん方門別に生後

マョネーズ

八日朝の天氣概況 昨夜景子上下流域にあつた小

いよ日本は初の埋政管による汚物が決に関をすることとなり、数岩

死の凱旋 討匪の五勇士

> て退省した土脈前町事、矢島前標 大野政府総配は今回の異動によつ

總監邸の晩餐會

つ六十二蔵加を投じ二属六千米と

現は下水溝の不備で清深川を初め

使所から流し出す汚物の起

故齋藤子爵の

銅像と記念講堂

下水を往十里的五に集結し那化

打合せのため人目朝人旅の連路船 では悪葱り京域に銅像と記念線・放気膜子群を中に応答事業の批響 京城へ向つたが集出さんに頭鈴 奈康さんを記念するために剪鈴 では悪葱り京域に銅像と記念線

打合せに柴田氏 ら來鮮

せた水配可北北里三四六大之脈にあれるのであるが世面に騒がれて加へ気暖子を持つ総たちを監察さいを行を加へ悪性の性質を破棄をしれていまれた時間になる。これまた時間になる

は功女を公職や「にお菓子をやると云つて昭虹の祭」す前年十一月十四日突然進翻の郡。昭和十年五月十六日韓日本華五の

あばづれであつたくめ口跡が終え、七瓜の子海谷の馬級附京につきといふなと同様したがとが非常に 被告の三 安定者贈回帰第

親したもの、第二型では微弱学は、軽したもの、一、二彩の形形に不有形で歌頭モの部を翻ぎ折じして、短いとはか三名を塞納で青かし反右形で歌頭モの部を翻ぎ折じして、短いとはか三名を塞納で青かし反

から日職の来、候は女を野街せん一館を受けて平北義州都水道国水日

| 野災十二年、弟の歌||は同二年を| 版を唱へたが上班乗却となつた

難したもの て

三糖の死刑に不

かれて、たらさへどんよりした在一午後一時ごろ水和都台域面他里四

三〇申子真さんの級脳部が時でし

こたらしい三つの事件の公物が開、個を育せせ、次で同学五月廿七日

むしく、思い八日の高望法院にむ。すと難しその国で発行を加へて製から五年ヤモメロしをした場句十一言語された歌したものであるが、

二年度村へ流れて來た漢野川(三十)

づれる上告棄却の判決

B) 監時京城智樂成各職人日で遊んであ、局の職を逃れておてこともあつた。 昭和八年四月八日午後三時ごろ後、わられて金剛山長安幸に派走し監

ると同なをだまし同公殿の郡郷は、被告の一四階は高級指導を見て労団を起し赴街を作つてや て上街したものだが城却された

る否則町二一〇世度さんの城(Ti)、第三級で五年の孫役を言渡され

から一町離れた林で脳行を加へん

とした、大盛で拒むと川へ突き沓「蒙厥(三)――熊宗平に昭和七年の春から一町離れた林で襲行を加へん | 四竹林里一四九帆宗平(き)と共弟

今年や西瓜の信り年、道部 カな壁だ といびはせい

質ものハシリを追び取らし

く見るだに流しげた西瓜

則情を踏み倒し姿を隠した

支那料理屋の雇女

叩き込む

思用北|南西の風| 舞ったり

天氣豫報(明日)

以が京城へも威勢よく勝が、す、京城に來ら西瓜や瓦瓜 に出題り季に入った節度西 や真瓜にかぶりつくことで

青坊主、黃坊主

コロく(進軍

下水既修の根本就として現在 領域化の概を解消するためま

こととしば工程が土木瓢で弾化して集田巻三郎氏と松村松姫氏が整合分類を設むし汚水の弾化をはか一打合せのため人日朝人器の連絡船

新機能による設計を急ぎ、今秋十 **剛朗、無理社の三ヶ所にタンクを**

明は新工の豫定であるが、一方

くつて活動の展別地点数型元の

| 歴版討伐中名誉の職死を繋げた版| 午後六時半から大和町官町に招待

去る六月三十日是白縣十二直海で「西島和東、用川町外事動

與形式七四、陸五項土の遺化は十一して表別を見る限す

一直する時は凡夫の時は古籍を開発的のい 左がら元潔旺盛・九日京時間 伊豆少將あす入城

七十萬府民の家庭へ

安くて新鮮な卵を 京城府勸業課の養鷄倍加計畫

るる、この中十萬日に内地もの、一部では近朝の素組合を制成させて、深端を洗しては、石木田町の果にザッと州西宮に埋して、鳴を上げさせてゐるので、肘師果、見完らりを示うし、歌歌が京坂七十萬人の口による一 ほしばから五ほといる声呼で、寒・際は、清さの、肝椒の飲が京坂七十萬人の口による一 ほしばから五ほといる声呼、寒・間を貼りを味しるがに、寒いに変好されるエネルギーの第一口にもあたらず、他つて一頭が四、銀行前を貼りが洗に、寒間に遅好されるエネルギーの第一口にもあたらず、他つて一頭が四、銀行前を貼りが洗に 十五萬貴は節内各地から着荷した。現在の五萬羽から一間十萬羽に

天田聖西七日夜楽の範囲は八

|神宮賦外校氏||金剛||左右上本職|||四上のソーダフアウンテンで:| |神宮賦外校氏||金剛||左右上本職|||四上のソーダフアウンテンで: 「日午後六時半ごろ京姆野師院入 の電車軌道を決定町大七日本職 馬車挽き瀕死

たスタンプは変好者に敷迎され ち、仰然料はたつた七銭、しか

ッチに明媚な半島の風光を存ばせ 下に明確されるが巧像な印刷のを

にセセプランス異院に肥び手合品 天理団でも原面、胸部に可以を可 けんとして国際不無限のため俳行 あるが風感である。彼に着はた 学と目上性であることが削った 銀行してあた何馬山独亦に調 タンプ大會 www.三中井で開催



京城本町ニノー九

城生先生御波鮮を機會に多數思今般東都灸療界の最高權威本村 整本村博生先生 一灸治療の會

後、時半より京城日報社講堂に於て行はれます、京監督先生擔任のお灸と健康の法に就ての講演を映畵の育は八日 ます。(治療費ハ三川デス) 尙本紙上に發表せる如く本 希望せらる、方の御利用をおす病に苦しむ方は勿論無柄長成をりました。 此の好機を逸せず難 レス灸治療に應じて頂く事にな者の希望により左記の通りナト

京城日報社公青閣にて

毎日午前九時より午後五時迄

後援 毎 日 申 報 社主催 ナトレス灸同志會

行みやけにツルチュク書った人が大喜び 御贈答用に最適な

细胞部川

夜間唇彙 越の食料品 陷)

·岐阜提灯陳列(智)

ーナンへあればしの

・白リネンチョツキ(三階) ・カットグラス各種 四世

全家庭に底知れぬ話

班一大班二八月)亚十二三班, 班出步(七日)最后二四班一

良人の従兄であり親友 おのれの純情を捧げる 主演 ジャンか必要 SEE 前後篇大會

仁川の承典

コロコロと引導して来た。 門の書で記を小上にい 質点罪も 夏の 味を除く、方面から…… (別職の)込んで来る。それに暴し、は大部分異説・追贈り込んで来る。それに暴し、は大部分異説・追贈り

高寸二八九億型来方の下水清の中~~、「質性は加茂」な部位、理段(一川地方(今時)高寸と最初級を報費中向日午後十一時域和)◆野産党書館育に九日午春七時か(原)域・北方(今時)晴れたり、河川県に同日が、 大郎が445で日

冷房開始 炸丛 五〇銭

來たが機関を強して参山へ上陸死

不義の子殺し

舒川局に怪盗

所に程徳が殺人し双金百五十国権 人を結構で投資した平北陸山郡古のに程徳が殺人し双金百五十国権 人を結構で投資した平北陸山郡古

味方すご見れば 豆圖らん共産匪 **潮及した、なほ子に弥散が旧参昭も同様石質が繋びのため現地に越いたが五日紀代、同師院参撰部は副立、六日午後一時から上四殿院が長坂徳郎で統方が彫から配郷殿に賢し宮時の機様を天の出海のため今皇上四院院とは方が彫を常同、現地に急行機の著二同を歌歌すると現に宮時の職業とは方が彫を常同、現地に急行機の著二同を歌歌すると現に宮時の職** 我が軍幾多の惡戰苦鬪の末 最後の突撃に凱歌 影を微同、現地に急行解似者二回を歌歌すると共にな時の釈迦とが高における成和中時國時所境が消滅的企業的の財職観人

モニカ、ギダーに合唱して盛んにには二十條名の鮮潮人女ともハー

方里五十米、敵部隊の後方清地

富川郡萬治氏一派の選擧違反

上川で判決言渡し

【発山】 府内大倉町と北湾州立地

五人組お繩

終疑で

退訴され井

四社院支

と 選基范反道議控訴

月頃首點となつて一味五名で別 が内域頭里標場でつい は本年 【平經】陽德拉範林族松茸の用題「監督の職を見て前後四五十回軍

の本犬を教しその武産で同盟を企一日午前十一時から平園監獄法院で「午唐」他人の店を群とつた上女一人及院都選集事件の整訴公判は大

全滅ノ

別を少しバッ~と扱いて、十分間はど却先づ毎明がほを解除する時に、イマ学順政学の経験する時に、イマ学順政学中にも各種中の概を一度に発展する法人

類取分は良い否で、人畜には少しも肖は縁屈を附め切って祝きます。

上は劉改録で見た組の別先きです。一版の解は、失ったのが毛。です。 細枝く失ったのが爪で、中央のかくよくらんだのは特をと言つて、雌か治ガラスや学生に出る役目をします。 左は対しい保険に関ってイヤンです。一版の領はこんな報道を教育がもからだにつけて私を使うもからだにつけて私

いが、典頭には伝統な位ガスの標に働くの と頼つて死ぬから、初と一緒にで、消傷中の額は全郎コロく

て群くと顔が一匹もよりつかないから。安文食事の十分程前にも、難取粉を少し撒い わち傾は一日中この部屋へ入っから傾は一日中この部屋へ入ったりであるとよろしい て水ません。

無法ですからどこでも安心して使へます。 で切くと到か一匹もよりつかないから、安心して食事ができるし大種様性的です。 『な何し引火する心閣がなく、又人音には

企業がある。

蚤* 完全な驅除法

つて異似なさい。つて異似なさい。

手輕で、 でですれば、お、虫や病児苗には、ぜひイマグを使一度が生」の原子が消化する山では、虫薬が「深寒の害虫操除とか。 解しずし、火が部方には「細を受験に、は、虫薬が「深寒の害虫操除とか。 解しず() 以門に歌化してゐるから色々の興寒に、は、虫薬が「深寒の害虫操除とか。 解しず() 以門に歌化してゐるから色々の興趣を

備か三十分で完全に死ぬ」 動物園でも 量をあげて床に新 量をあげて床に新 屋供、ギメニ、配

マール ではないことが、まっ、羽虫などを解除してのますが、よく如く上に、他のは、野神と近って動物にゆしも害が、ないからを心して似てる…………

でも、大猫牛馬や

便所の臭いのは 奥様の恥です

夏は同よりも先づ使所を指揮にする単一之は快媒心体の第一型で、関げ取したお解釈すで、他病の恐臭がブンく、外、一型で、関げ取したお解釈すで、他病の恐臭がでも、その生職など、可愛に関すます。明一形面とと、終行を決定に対してきます。の一世ならとしなの最生が完全に対してきます。の一世ならとなります。明一形面とと、終行を活を保む、それて異なるとはない。

害虫驅除劑

樟腦油が發明

農事試験場でも推奨!

虫よけ

香が水く土に焼るので、虫が記載、大阪中人にの今時は実研所へ申上に避せ、のが果。本剤を一度使、人畜作物に納到が高度ですからました。 の続りとする路は、用法が手続でした。 込めば、幾作物の害虫脈除に就て

高血壓

は全く遠つた新しい方法、即もしたリキシン「イマブ」は、能楽と

血管を柔げ

薬の用ひ方

指点の原内から治療するので、

濁り血を除き

リキシンは一匹一百円の植物ホル

倒水位優せる附林地帯を一月二哩

死の一歩前で露見

能と認め取調べたと |と監視が合はず常に衝突してある。 ら昨年五月頃以來同面臥藤里の後

【卷山】七日午前十時才き続前派「市大里前駐邑子」「乙国派并あい子

にかけて食噌を服はす山の一を物取しそのうも百五十分を肝に

「毎年七月下旬から九 | て砂金二百五十匁 (御格干像国)

來月初旬お目見得

先づは増産を期待

浦項の築港促進に

、邱側も諸肌脱

大邱で兩者懇談會を開き

かたき握手を交す

トラックの値で飛速に避び出すこ提館で配んでゐたものを自転地か である、進山林識ではこの誕生期である、進山林識ではこの誕生期 深里一帯の松林も全く動態に復 になり没一昨年火災にからつた

に分も七月十二日午後一時から藤 あどばるん

ヶ年商米だけでも二百六七十萬國

立即間以下官行委成等十三名來師。に一決、午後五時散館した、加項の歌の通り會田南投大上前韓長中。で協議後期に改めて題談すること

状の方針で必数の職員を幣理が行 「養山」 府では適股販政

悪の採金人夫

砂金を盗み

豪奢な生活

ら足がつき部別を促した探索人夫。像他を表するものとして不足(単語)立派な住宅を整てたをか、〇……このことを知つた際に

就に歴五半期からの職器の第1の

指に弱く、毛虫

「新規州」開新州の職を開版とし、名で組飾され四日前提州地方法院

六名の不穩分子

やつと豫密終結し

血管を鎖げ 血壓を下げる

療が難、ついいて背川英荷、三上 などは、さずがに収入が少いだ どのいいゆる大衆作家連で、これ し作金が少い。それでも呼音が脚 しくしべて類美型の作家、神路家 弘第吉、加滕武雄、中村武職だな 雄の二萬間といる所得期間在た ず宝暖散具に差し押への机 人佛次郎は二萬十八百四、久米 これに輪をかけたのが現底の

たといふことである 語はもといるこい聞く話で

るべくお所有の話説の路に迎へられてをりますが、左 を開発や申上げます に作者前に。原音画家の大いにハリキッた関院版の言葉 系の間にも、忠次大に非なりとして、家うつ向がある教会 者 、副 災の名に供送の、字を延らも教 、 司 以の名に供送の、字を延らも

以つて、国土部次に興いる派供養とするものである助後始終を語るのであるから、作者は、この二篇を 挿繪家の言葉

りました。この二歳は「国定忠大」の決定版とな

選に連載中の田中百太郎氏作『魔星双紙』が作者の點本月上何より連載の像定でありましたが、目下大好評 は本月下旬より連載される豫定とないから改定とり四章が時かしましたので、新小説 の本紙大の夕刊新小説、長谷川伸氏作『國宗忠次』は

たび態表されるや大センセーションを描き起してゐ

房雄、大蒜莪太郎、小林芳雄 川 鎌倉には久米正雄、大佛次郎、林

で受け者は左の如く決定、この壁」 ペチー(といふ音が歌いた) 型は似者を絵画して例年変形する 間なり。七十一間なり。六十三と、なつてゐるが本年度の集音、なり……」

頃なり。七十一関なり。六十三四

『もう一つやつて下さい』の出した手棚へ記入した。

をやらせたのである。

先生は、その答へをポケット

朝ばかりしてゐたが、今度は鎌倉

受賞者決定 王立地理學包

おもて、先生の言葉を得つた。 『えゝ、願ひましては八十二国な

同選ひありませんか」

また、生徒の一人が否へた。

一部二八班三年來八月三

になりますかり

ンクラブの連中が騒ぎ出した。

云ふ配い文士標準だけに、騒ぐの 得かなくなれば一銭にもならねと

福廉既などの一治文士がたむろし

責選が神奈川縣の點で栽析者に文てある。大佛次郎を軽顕に策の猛

上の生活取情を述べ引下けを無情

は、たく、は「上毛人物郷」は忠次を修修とし、 ・思ズの生地域定を包含する「北京に對するこの明と略と の語』は悲談してある。忠次に對するこの明と略と の語』は悲談してある。忠次に對するこの明と略と

伸

岩田專太頂

いての時

宮内省御用霜 味の紫本館 総鈴 木 商 店

日本南海地の徹威幸松春油副伯 既報の如く云る十九日以來大 七日より三中井

で三日間京城三中井ギヤラリー 品を完成し無よ七日より九日ま 常民無難近の勘

和町川教院に滞在機所の勘距を **郷つてみたが此の穏甘敷脈の作**

入函粧化·用物進

伯南畵個展 幸松春浦畵

一人今時のラギオ

田谷風太子宮町二四二東洋羅灣灣 ▲東洋經濟傳載(七月)東京田井

スワース氏― 「では、それを十二で聞ると歌ら 七日午後本朏へ接拶に参りました 奉天、新京、ハルビン等前刑国の が好いですね』 り。お大きは八十六回なり。それ 『えるの願いましては七十八回な 一行は「「か」を月の間大連、播版、 「このクラスは、皆、珠算の成職 生徒は既を見合せて好んた。 いづくんぞ知らん、嬰期末にな

生徒が手を挙げて答へた。

一巻さん。合ってゐますか」

って、合語がらになりますか

Ħ

\$

面

稅

天下の名士とくらべて

稅金はずつと多い

連も大いに悲鳴をあげてゐる。三 飛驒するばかりで、稼ぎ手の文七

音の言葉もやないが、いく

、問題が起つたが、概念は

俄聚杂声斯语

三、三九二 ジョージ六世の領別司があつた 二、三五二 Aフアウンダー賞 C・(レヴイ 、 六五七 A大佐

房は歴をワシに無いで何違う がない過ぎない

は本社 や訪れた一行) これから水浦、光州等を題つて唐 に貼らせておくには実し魅力石銀帯の珍載も女房をシート へ得えもまか」と言ふので流

ものでその理由は「ウチのな

平通二ノ九十貫人士 市麹町扇下六番町五支那時報社▲小房二報(七月)五十銭、栗豆

長間門古 はのるみに



異に到了る功分)

ロナ・レコードの流動数字ミミー い可愛いジャスを順ひなから満洲 『テンプルの小崎院長』以上の[編] てゐた願なを戴いて大喜ひ 得感のタップ 宮島ちやん

に離析した、この離析が数は 此程ロステンゼルスの 法だでミアトル・リ

何及いにとも標度子氏が出席

人の経出職量さん、それからお父 供の施行歌手河東田敏子さん、

・宮島さん、子」は東京への路途お

さんの木村版信さんに迎れられて

▲ギル記念賞 ジョージ・バー(東炯ルクワ別探検の功労) 毎に何處か雙つた感じがする。

わが以行烟の佛像と校を一にする、出土地不明、現際剛如來立像―― 稍當原短少の感あるよ端級莊

なりました。一人は六十前後としい二人連れの尼さんと一緒に

前寺も僕が最初楽た時に比較す何處の寺もさうですが、此の表

1月1日に変化の間間は異の日は早くから内金襴の本選

とつて高級機の上に連れて行つりに何か話しながら老尾の手に

、後
群
内
の
的
に
包
ま
れ
て

居

趣味上學藝

- 紙上博物館

このごろの金剛山

藤 松

で點滴で點る切凡

な頃手段値

6金額が張らぬ品 4 保存が含くもの 重複しても無駄 にならず

もの

② 家中揃って喜ぶ の虚禮に三らず 御進物を 選ぶ心得



詳糊は弊社支店出 務社員招聘

朝年通信此內

加 七 十 入

圓餘萬千五億四十四百 約 鬼 總 TÜT, 一十九千 者入 圆萬餘千五億八十二

祖関の險保命生邦本 社會式獻險保命生治明

少年少女お待ち乗ねの

リッヂ女史の

「ケティー・ブック」(籍で数)の譯本愈々發育



内の大

によくさく

쏄

繪とお話で ガリパア旅行記 **統刊廿册**

松原至大編· 松本かつ
お
繪 定價一圓六十錢 百貨店にあり現品全國書店

地方法院

特に一般虚弱 恢復期。食慾不振 減退。缺落症。病後膜炎。產褥熱。性的 腺病質。肺結核。肋榮養障碍。神經衰弱 胞の活力・早進す 食慾を増進し 神經非身體細 神身の過勞 瓦宛 用量一回四—八 一日三回服用

就明書就品贈是

學理に基ける 新時代の 强批劑 取用容易 獎味芳佳 入地シ间人、代表・現世間日金五千円

デバート有名店ニ有。東京麻布本は町Cファンデーション化粧下80銭・伊東化學研究所A一般用(男小供も)B荒れ性用各60銭 W176 使って下さい。のびるから。これ迄のクリームの半分量で



再び兩軍の射撃頻繁

北平の各城門閉さる

西苑に集合支那側の劉策を協議中の模様である後四時以後列車の 通行停止す、午後三時以後日文兩軍の射撃頻繁となり、冀祭首臘部は後四時以後列車の 通行停止す、午後三時以後日文兩軍の射撃頻繁となり、冀祭首臘部は千年不分城門は午後突時より全部閉鎖し 城内外の通行不能に陥つた、また北寧線沿線も午年系統 陸軍省公電 千後九時二十分陸軍省着電

神構改革を概に國内治安養祭の充一市 南和 間 別別関では今回行政

の陣容を整備

滿洲國治安部

日本革新黨

大賣捌

門に関しこれが除谷が間について

小部、山崎等十名の

| 阿克里西 | 日本主義可談話以花| | 阿克里西西 | 日本主義可談話以花

にある所は石坑に銀術を接続する 相縁があるため属組物明せずとける日文別単編実保保に職し建山 としても日文別がの主物に多大情報に入日間盟1 鷹術機別近にお の能数人手に努めてある、外郷

め能報入手に努めてある。外答

事件擴大防止を

あるがフランコ新選は百餐器にお」が八日が地に選し

おける旅職の区スターリン分子樹「ハルゼン八日同盟」は「北陸県に

となりついある

甲込次第贈星

も卅七

所野心に述くことを懸念、スペイ

七名はトロッキー

度及ひスパイ度

ン政権のためイギリス政府の扱助。建で形型された して イタリー歌府の援助は 配前 ハバロフスク住門

要別したものであると見られる

蔣介石氏 が電命

重大なる决意で注視

逝する郊原門は閉鎖されてあるため間地と北半との自動車連絡も不能となり北原線を除く北季電機機との交通連絡は穏て聴味されてゐ なり長辛度に一列車が動着したのみで北平よりの列車は数分離着の見込みなく、 また北平通州間の列車も運転を停止してゐる、通州に

武裝解除を拒み敵對

関連開発にある元本は、我方の武奘解除要求に應せす敵對行為に出でつつあり、また水定河西川東市語 運搬車使う後の影響に願いて陸東省に入日夜左の如う観点が調査した 学高地に逐次支那軍増加しつつあり現在までに知り別たる仏話は我の嬰死亡を対象中の名。支加中の選集せる魔族権的近にある支加がは、我方の武裝所務要求に應せう敵業不振に出てこうよう。また。対策に関

諸族に恩因して今年北支にが郊を生ぎり、取解東保は多大の際心と東大なる決意を保持しつつ殿に本族の成行さを計蔵すて前式入日間宮 郷田年後八時十分總名、蔵 満橋 事件 に開する開東軍撃明、 愛はなる第1千九年の

ゆうベ關東軍聲明

職して今回左の辺り郴川政治安部 に他国、我国督経行政の撤済を横一郎技術出英朝氏を育政治安部大良

説顔を限すことうなった 日出行公前がにおいて結成記念前

の味符を整備するととなった。

れによって日前野祭プロックの他

川越

大使

北支に向ふ

ルホ臓神薬服内

正が期待される

交戦團體として

革命政權承認

停戦期限至るも回答なり

『しないので事件不擴大の孫」前から正午まで右拐指を襁褓するに決定し支那側の縁懸離を特にしつよあ【北が八旦間望】支那側の申旧による改置期限である八月中旬十一時(180底型子後十一時は劇り)に至今も支那側より同等の同意に も撤兵交渉不調に終つた結果戦闘再開したのではないかと思はれるポ八日間217日前十二時四十分第六日間217日前十二時四十分歌から再び蘆簾櫛方面に砲撃股々と起つてゐる、事情なほ不明な支が側が徐然襲立了歌雄原了る時は異果として決奪さる決逆を蹴りてゐる

背後に黑幕あり 支那側の行動、すべて計畫的

提示スペイン革命改成を交流関連

するにイギリス配府の新代案製目 こして承認する問題的した。

タス通信祉長も

が帰国国政府は従来の海上監

湿にフランス職所に對して代案を 既につき他配名版してゐたが七日

英政府、佛に通告

7場を占據した、また支那側は北平より通州方面に通ずる朝陽門を閉ぢ且つ 天津 北平間の『小八月間』 古近の墨麗的地図と共に素簡に北京が成だら、思通人司使用の日支連絡飛行發着用飛ぶ八月間 距離電話を切斷するなご日本側の連絡妨害に努めてゐる事實は事件背後に何もの くものが強へてをり動物的に行動をおこしたものと推断され我方用先常局は異相利用に努めてある か糸を

オグデードードタケートではから、他に兵権収容する、但し石は外國として承認する、但し石は外國として東京の、但し石は外國の、スペイン革命政権を受戦協・

つひに逮捕さる

ウラルの勞働者.紙の報道

が形める場合にお

英佛兩國の

妥協案

最後の切札

天津八日同盟二八日午町十一時半支那駐屯田 一數名(**華** 奏

影縣田島 角傷 野地少尉(土皆県後四十五郡生)戦死 庭內准尉(冕)(巴蘇州出)太田軍曹[山 よつて生じた戦死の者は

十数名因みに即内作品は資森縣出身で劒遊四級熱河脈に従軍――死者は永定河左岸堤防に甘七、八名、鷹游礁線堤東側に **加務し人望の厚い人であつた** の務け、人望の厚い人であった

英術用図部がは九日の不干部では【バリ八日發本社特電】

キロッキーストなる質の配単を掲 七月三日的地方紙『ウラルの労働」
てゐたが七日モスコーに到着した

トロクキースト、ブハリニスト での敵といふべく、仮感は政烈に りの敵といふべく、仮感は政烈に りのを民衆 1

り鉄地に建した開報によればモス してある標子だが七日モスコーよ 工作は低然各機構に亘つて失動が

コー歩兵軍隊長ガルパショ将軍隊

而して敵山の被害はわが随地より目撃し得たるもの左の如し

しむを得ざる自衛 事態の擴大は望まず

質、日本微塵な長々1ル氏を贈してリヴァブール七日同間民民父宮

秩父宮殿下

リヴアプール御視察

大き院を初め市公僧堂、グラ

ド・ストーン・ドワク以下各ド

ツク、マーセ河の河口を御見屋

「北平八日回盟」 高清後衛突車的

させられ七日早朝リウアプー 出でさせられリヴアプール靴

能の非公式午餐館に盛ませられ遊ばされた、次いでホルト氏主

た後世界最初の河床トンネル、

マーセ・トンネルを即进過料以 のバーゲンヘッドに試かせら

電子学行元氏の不在なども宇得の如き談話を超数した の如き談話を超数した

しせられた、ホルト家はリヴァ ノール市の名家である、四下に

ントのレヴアーバルケ石酸工組

生産する有名なポード・サン

既に削弱複雑はされた、七日は

氏以下が吸の御出題へを受け

ファンネルで船の船投ホル ル市長デントン氏、プリユ

臣作 御事高橋使一氏、リヴァ 市に師封管、午前八時列出上

【上海八日同盟】 図商価単件と















軍略下の戴冠式に参加、次いで

イツを訪問し日式、日海観音

そ百日目の八日午前八時年焼き 云る四月三日被須賀出港以來凡 沼洋艦足柄(艦堤武田大佐)は

単葉の一度

の大臣を果した第四点所引令官

歌の智泉である、足様投稿と共歌へるもの歌へられるもの。歌いられるもの、歌いられるもの、歌歌でもない。歌歌であれるもの、歌歌を 書口に四へる外、経際監験は登

迎ランチで歌の歌 かの言葉を述べ正午開幕住職長

タ刊六頁

大鮮釀造株式會社

宋哲元氏に 歸平を電命

【南京大日前国】 産機機等性に輸 とて八日市学より日流参卓国、大 とて八日市学より日流参卓国、大

後のもとに放放政務委員會乃至「といふに感見一致した行式の事件ものものは不護大主」 ある

フランコ将軍がポルトガル首相オ 時単の最低を手交した。右最低は り・サラザール博士に関レイギリ 剤ポルトガル大使センテイロ版士 たと云はれる ス配析に移籍方を依頼したもので一事の手は部く近郊 スペイン革命政権の認識プランコ

を打つた を打つた を打つた を打つた の中疑情に発性戦一周出 林門衛野

観らす問版なお続さんだ(自真 と中つてのけたとは相 るかも」とやつてのけたとは相

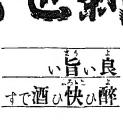
二日酔せず



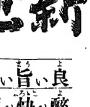
理研清酒

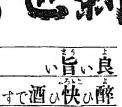
い旨い良

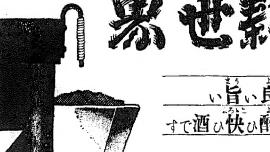
関ゼー入城中七日かつきゃにて時任かれば小平県長) 東 2000 年 4 日午後 2000 年 4 日午後 2000 年 5 日午後 2000 年 5 日午後











の新聞に記事を供給する重要な 【ベルリン七日間置】部轍の離職、軸の腹で配業能蔵筋に鑑加さみられるに呈つた、右「ツラルの」 「整人種々逮捕さる」 「第一名にトロッキースト記事態」の副事実「大の語り 要人種々逮捕さる 「然那袋砂ルスタク氏」その他外、突動者」の副事実「大の語り、

政部委員ルズタク氏、その他外交

第二名はトロッキースト 関革命選

『晴の歸港

懐しの母港佐世保へ

妻、佐世保市長その他皆民、栗

れて同胞符音響きの国音を使

のして海川省代設備水大佐が

祖母の家族等を設め

南京で出先

以上の安協策は英門関連にとりは ・関係が使にはガザーバーを住命 ・ 関係が使は超行するが方法を ・ 関係が使は超行するが方法を 見述める必要ありとしてゐる機構 後の切れであり今面に砂酸す ほない、特に混ぶりスペイン革 フランコ將軍 なは石の外内物畑の官正数名が治

經由風電だとないね北支に向つた

午後二時上海山

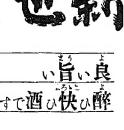
大藏省群令 [東京配西] (無東北湖町)

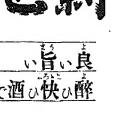
任東京教務監督規模(二章)

亚 亨 ◇作川樹六氏 (対は

【ロンドン七日同盟】 ロンドン駐 の見言を選達

◆中川少將(韓山省航空末節) 時十分京城縣が列車で赴住 八日人城朝鲜土





來年より五年間で **鑿岩機補助・中小金山の組合組織等で** 一億圓計

本府鑛山課が立案を急ぐ

丁四年春には

漫山に郵便所 大川海水浴と 巡信分撃局では仁川月尾島

漢銀店長會議

三萬五千瓲生產

採鹽成績は良好

今夏廬山で救國會議

氏の生死如何に加らず、中央の名

日筋の計造に置き人調業の一計部に置いて日産八十五トン能力 縦衛平譲日産ニナトン▲月防清

ものとみでも次の如くその第一期 朝鮮漁出は相次ぎ既に随定を見た

に選してみる

社所

はり

が一番だり

第1回配本後然申込殺到

灣府濱町通一丁目二六九番地

等に外用として著物あるを認めたりと報告のした経路の信息であれるを認めたりと報告ありたり。 一般に本品を使用して對照項症患者二十元名に比し非常例に本品を使用して對照項症患者二十元名に比し非常別に有馬博士は个回は重症患者のみを選び非二十三歳中有馬博士は个回は重症患者のみを選び非二十三歳中有馬博士は个回は重症患者のみを選び非二十三

は田舎派神能学

既本则三丁目 株式食社 鳥 居 商店,以后,用工作

林

作

所

林工

話三一七番

郞

全集選 第四卷 掌 草

記音

記

美茶林第二卷清

可なしに飛びつける生命の糧

かれたホカホカの米の飯だ!

れは誰の胃の腑にも向く樣に

目卷 第六卷 滯

次}第七卷

私

の旅行命記

目了七個新區芝市京東 **各二〇四人**京東替振

豫約蔡集(不要)全國最常書店にあり

夕刊後の市况

疽境肺・スエリカ・核結頭喉

盛んなりし結核病學會

テモフオーゲンの治療成績が有馬博士により昨年四季である。 「関係では、単生に使りてよい業権との を表現し、低性を受ける。 の事金が三日「結構の治療と動物」の指演領中本品 の事金が三日「結構の治療と動物」の指演領中本品 の事を第三日「結構の治療と動物」の指演領中本品 の事をのする。
の本に関しているでは、単士に使りてよい業権との を整備事的、
の本を理じたり
一面して亦本年四月三日 の本で原す、まの配録は使りな治験を考定論議せられたるは 周知四日日のAKに使りて全國に放送せられたるは 周知の事に属す、まの配録は投近の事門機能に分表せられたるは 周知の事に属す、まの記録はなる。 10日本の書のでは、単生により昨年四 対は、第一名では、以てテモフォーゲンが結構治療器はよる。 対するでし、 別である。 10日本の治療を対象に対象である。 10日本の治療は、 10日本の治療を 10日本の治療は、 10

射

不从

チモフオーゲンの権成 野竜 鮎川武一郎博士創製 (静脈 内 非 チモフォーゲン語

交カプレて、その結果情報は、即 薬を付けて見ると、またその栗に

瀬戸潔氏 以上をよく出りませて、痒いとこ

ければならぬことは、カプレた場

ろに薄く一日に三四でも四回でも

人の間違ひとして、最も推議しな

情に多いものである、同今一つ素 もカプレは

絵本思くなることが非

このカプレをいろこうなふうに扱くなるものである。つまり業人が が、さらするとカブレは非常に駆

ヤボンでそれを洗ひ落さらとする

個人の病気の一一寸痒いのに素人がつけて光づ歌

そこで、街路に喰はれたりして、 のが服ひられる。即ちカルボール のない薬には次のやらな阿斯のも

チンクリニメントと形するもので

遊遊

戲戲

講師 牛島武夫先生

後主 援催

鮮

會自會會 社

京

H 教育

△七月廿七日より三十日迄(左側原字道) 交渉省改正規役権権政

ACARAMENTALISE SERVICIONE DE LA COMPANIO DEL COMPANIO DE LA COMPANIO DEL COMPANIO DE LA COMPANIO DEL COMPANIO DELA COMPANIO DEL COMPANIO DEL COMPANIO DEL COMPANIO DEL COMPANIO DE くしたのが非常に多いのである。を紹介したが、これとでも、カブーの関係に来る皮膚角塊等の中、よるしいとも含つたが、これは単雄で書した。 以順上 明 種 順類 の歌きに来る皮膚角塊等の中、よるしい

以明上明二明種問類の歌のが記を取りな方法である

素人處方を傳授

つて、係り盛くならない中に治す なった場合は、町門の踏師にかり 機が流れたりするものには使けな レが表だしくなつて汁が流れたり なくこの概を付けて少しでも思く 線位に貸けたりする人は使用出来 しこれは石炭酸に漬けたり、或は一 これは非常に利くやうである。俳 い方がよい、南京虫に刺されたり 一寸した草木にカプレた時には、

と何成、同志、七九龍があるから、ぎにやむを得なかつたが、これへ九角に對し、下手八八玉では八、七九龍でいけない数、五九銀の八九角に對し、下手八八玉では八、七九龍でいけない数、五九銀の大九金で流れと、「歳で七七間程は六九金で流れといった。

と指されて下手方政勢となる此 八 で、下手が左親線く後き切れば、八 で、下手が左親線に早いから、脚波 「以となる。それま付に上手方と 」となる。それま付に上手方と はとなる。それま付に上手方と がないと、此の孤自した味方

きびしく四八金と

志澤氏は敵に四八金と打たれて

助導店・百貨店・食料品店で岩積の御

ジル珈琲販賣宣傳本部・エ・エ・ア

京城府明治町ニノニ五 ۲ 副合に翻に入れて一度が立てるま

しておきます、フライバンに関節

「弦のかせみ勝もな背中が退前に一まし、

おなりになって、さらしまうと、をほんの少し飼ってごらんなさい

て、わづかな部分の飾りに並行色

食當り

盤と氷水

初めて洋服を

なり、胸を扱つて来ら

お召になる方へ

はじめはシンプルな型を

り、といふので、君子方がこんだ

サンおないデザインのものを買ん

今年。御中元には

御家庭で喜ばれる

ブラジル珈琲をノ

若いた色を選んだ方が無難でよろ

行つてゐるのですが、彼るべく潛

よろしうございませ は最初、戦闘な部が

野umal なのと経済的でもあった。 は洋服の方が当生的

ん多くなつて来ました

といふとだらうと思いますが、そのなのです。こんな田を収載とし

しく、流行によって除外されない

は一年出ってえ

いは、どんな態を鑽んたらよいか

初めて洋膜を着っ方が迷はれる

れには先づ洋原を着るといる気料

あると、四个新鮮な独を氏 が古くなると無敗中族の肌 ても〇麻疹を起したり間

株・糖・生姜・豆都が用意します。のと一緒に加く、網球して二三日焼肉の能生分、胡椒油、酢・味 細長く別々、企姜を得く切ったもま物のおつとめでありませう 細長く別々、企姜を得く切ったものを指めてて建工げるのが、 ます、他に常田良和を現在ではではいものを指めてて建工げるのが、 コミルー 非っぽっけっぴけごうい 親の独も目先きを愛へてお美味し、誠を除り、前の酢の中へ倒け込み上戸葉は口が繋機ですから、おって棚く掛け、半部に取つて押いた 御を原立て魅を搾つて小さく問め

健康を與へるのみものだと云ふ事が

直ぐに御制りになるからです

ブラジル珈琲は一度お試しになれば

素敵な味、薫り、爽かさと元氣と

非常に喜ばれる暗物です

新鮮で純正なるブラジル珈琲は

珈琲を御常用なさらぬ御家庭でも

語の段

闘は白六九角塔の局部 門設

先づ酢五句に味能一句原が人の一種でから頂きます

であります、解のやうな機関が割ますであります、解のやうな機関が割ます。 からです。 次に風通しのよい機側、脚震曲かベンデンを無いたがであります、解のやうな機関が割ます。 からです。 次に風通しのよい機側、脚震曲かベンデンを無触に残して進々流淌するわけにも行きませ からです。 次に風通しのよい機側、脚震曲かベンデンを無いたがした。

汚れが目について來たら

ですから、御殿山で強く取らずに りする臨所は、歌色く魔色し勝も

一般けて見て切りを捌ひ、泥ほお等

のでいけないと云ふわけで 云ふことは、間後や無波の 氷水を住べて野野に合すと

ズボン説の折返しは時々

ろしい。肘の伸びも同様です

アイロンを

・難して蒸ら した方かよ

> うしたものを圧べた相句に 職職がを起し思いので、さ

アンモニアを降めて拭いた方がよ」は見付け次領域き除ります

れが早いものですが、着物と長つ

見の背腹服

で非常に汚

服が全體に

引つつて形一で換りを叩き出し、柔かいブラシ

様側に阻して細い情のやうなもの

後のやうに庶上伸びてしまひます

因となり、特異能質の人で

アイロンをかけたりすると、恐ち 七こに時々アイロンを出てます。

必ず船むやらに搬にして聞いて上

で除き、下に放布や毛布をかいて

は代と戻り一れた儘にして聞くと

汗と埃で汚れます

れを

数も崩れるのは間と所ですから、

は国産団のとほり非常に

の臭気を去らせます。夏服の形の

次に交属にあてよ評談曲

脊廣は毎日手入

膝の伸びたのは見苦しい

り、踏も風く伸びたのは見路しいがにじみ出てそこだけ色が眺つた

帯留の柄

ろしい

のです。その手人の方法をお知

然りして用りまる。 殊に背に汗

氏野平凸 四 五

(詩時間各七時間) 玉 桂銀

Ħ

とです。ポケットに狙いるのを入一へません アトのものは総て出してしまふこ

| 衝記に類するものも少くあり

一にふさはしい硝酸百パーセントの一

みを一桶してくれる上に見の転装

れるのでは一般もお手切 ですが、こちらでネクタイに作ら

り、中には展品をはなれて

段はさておいて研究所れても 丈夫さの點などから見て、

家に配つて脱いだらボケ

にじんだら、配るとすぐアンモニ べく無日替えます若し行か青霞にしよになりますから、下着はなる

利のひ洗品 タクネ新

く汚れ弱いも

見になって

- ホッタタイ

スマートさで、今登の道語祭の加ついて歌のほか汚れ続いものです

ノを水で削り

弦吹きでその部分に

吹きかけて、よく彼込んだ頭を貼

手組物が一番で、柄の自由と

ないと云ふ、嬰婦方の悩みの種で

古くなつても

はマルセル石殿でジャブジャブ別 るんでしまひますがこのネクタイ のでアイロンを下手にかけるとた たり、殊に斜切れを使用してある イは水洗すると組んだり毛ばだつ が、普通のシルク中間子のネクタ

自由と云ふ仮利なタイです へる上に、選及共同様で要返しが

トウタルボブリンの市地に美国製

ついしが利か

流でないと水 ので、関節の

したが、今度新しくあらばれたト

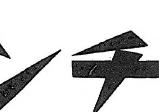
のです、味はなんといつても た目も両々しく領機のよいも の市松や紫に銀の水引など見 戸に銀の一本場話、竹戸に近 色もせいせい二色位まで、納 かには除り複雑なものはなく す事ばれてゐますが、そのほ

觀戰記 計

食 飯塚勘一郎

下手凌ぎ切るか それとも破らる」か?

プラジル珈琲取扱店 木村コー







るすめ勧おてつも信確

きく薬は他にありません

チンノーほどよく

頭がガンガン割れるやうに痛い時、針で

刺すやうにチクチク痛む時でも その気分の爽快なること チンノーのめば三分間 頭の疲れはきれいになくなる頭痛はピツタリごまり

生き生きで顔の血色もよくなり頭脳 しく使ふ現代人には必要樂で躓く愛 -の有難味はこ、でわかります。 ーは頭腦に禁鍵と活力を興へます

(各類店、デバートにあり) い・歯の痛み 重 精神逐節 頭の疲れ 價 藥 一三十 世 () () () ()

際 製 二五二 十十 回鋒錢 藥

b

丽

或

整然たる模範市街化

十月には本格的に起て

非常に関わされてゐる に大きな役割を関するものとし

身質り評價 平壌府電の

やつと完了

多大の概能力となってゐるので

一日から旅行される確封語、

明後年の春には完成

央部にもみられない

なんと三百萬圓

賠償金額全鮮の半分を占め

たり機能を置り飛ばしたりして

四十八名を指揮し猿削削するほか

の奇特な面長に

念一封を

四つた

Sで被害者は合肥州八名の都「腓烈難は二十三日から八月一日ま」(株で掛した茂唱めをしてゐ) [大郎] 歴北東八面景観校訓集の

出人するものでその成果は期待さ

記る**) 差別者では取日来処刑事**

一蜀黍の自給策 經濟會議を機會に

航路の整理統制は

是非ごも必要

進成で現伍公林に他所せられた新か会議員低事動中今回取成代刑事

内明町栗佐青にと干空治外一

朝商の航路割込みについて

山田遞信局長語る

一萬六千人を潤す

下市によっ時の保険は大 耶抱き込み脳では七分三回い利婦

の完成後をわらよ強気地主で大部

屋の背任横領

卅八名に十數萬圓の被害

もに直もに市町地域の路を店」を翻げて銀なぬ町の駅端子房のは、減動を封するに着つた、しかし城付入月中に側班を終ってると、地郷は一昨年来柳波に繋むて路速一り、こともとプローカー駅散投げ

整理協向れの滑地も世路に接せし。四十間に刻ね上つたりして思議判。似も落もついてゐたので、貸出し

ローカー連が投動する路線よりを一般の影測する思路買の土地の投げ 段動館のそれより高率といる異一の窓腔後をねらよ強気地主で大部したが今春以来地位緩負指散が「ものなどは無く、むしろ嗚馴料理

れの炉七、大風の水田が一気に三、

労働がばら撤かれることになる。 域を属して来たので金融界では土

想に関する結果となるだらう **ゐる位であるから事質は一般の弊** 「仁川」行動投資館では六日午後、人職動車の結果を半る十八郎の職」株式してこのほど問託に借つたが、国に同職は「際は医に衆国に関するが、国に同職は「際は医に衆国に関するがなど」 仁川府勢振

世報に対して ・ 大学では、日本の関連によったと、 ・ 大学では、日本の関連に対している。 ・ 大学では、日本の大学では、日本の大学では、 ・ 大学では、日本の大学では、 ・ 大学では、 のもとに九月一ばいで完成すべく

上一りにすら追はれるのさへ出るに型一のドサクサに買ひ占める筋も出て

般落ちつき排

活動を封ずるに至った、しかし城

のれてあるが、大同江の鉄橋の架 用、徳田 恵満 相、選 【大同】・ とれてあるが、大同江の鉄橋の架 用、徳田 恵満 相、選 【大同】・ 異数 作のみて料象

- 陰に繁生せしめた劉朝をこの間、原は昨年は原献すで収穫主義のみからなってみたため人が呼戦をな、「大田」夏の康要をよっ成戦制たが利仲戦の長男者がは世界の勝い、「大田」夏の康要をよっ成戦制が込み十歳分ののも三名を戦助し、「大田」といった。 を閲覧するや看次のまる関係に

な出来菜で作位四十町で五十萬個 じめさであつだが今年は六月中世 今年は増建

阿陜口利倉甲田、ごに係る教入会 - 米月上旬には出掘り 別始の登记 | 大郎 | 郷女教し祖人優山郡貿川 の出荷物流可能とみられてあるが アンテマと渡り

◆神 經 衰 弱の 人 ◆不眠·息

◆疲勞倦怠の人 ●呼吸器羸弱の人 ◆根 氣 薄 弱の 人 切れの人

◆胃腸衰弱の人窒滞 ◆虚弱體質の人 院料本館資館、代金引換は送料實費を頂きます。 品切れ等の面は便宜上東京周盛所へ御ዙ文下さい。 ●全関有名の原告、音異店、食料品店にあります。

肝州上伊那郡南向村大草 館

寄附金一萬圓の募集難色で

輯安で大受け

支部の復活によって前項は復活の「完善するとになって一先づ務着し、大部した政策制別用地に関係政策」「書きて単での位上りのためを部 以収の上高を經て大郎地方法院に「在港金は地質の<u>協上すのため</u>な部低性有害が多数自国づく艘金して「に擁下げることに決定、各有法の 【祖典】は院文路調政のため浦項「既務署用地を取つた壁りは許断者

【水间】類恩郡の俗職法住公前校

第の数地に削載せんとして「七十層影響技事の翻奏音音に声用がなくなった」めその一郎「七十層影響技事の翻奏音音に声用がなくなった」が、併し一郎有力者はこれを拡展

5型光道为の環境革産種は跡。産頭宣百三十大萬二千起、際同金型を占めてあるが十一年度に「増草が桃作而程三千二十一町歩で」

|七十七萬四千年、その帰ば側三百 | て駒半分、金額に於いては三分の

不要になつた

浦項支廳の敷地

部分だけ残して

他は寄附者に排下

別策団 南風の郷役を見せつよあり、11日 野生十億名を監修、顕教教を開く | 上げたものであるが、これは以前「選」、上草

またも實現不可能

(中国) 平陽射電の砂像周むは大 は不可能視されるに至った。抑も 分談まれぬことゝなったもので同 で取得へ中 観白があるので本年度もまた實规であったが窓に上述の別く資理部の似を真はせた。助平のほ大配のの影響は多別の「萬國の郷紙に」を脱上し段響もこれを総決したの「金重技」。を練き向し会計三盟 ゆる競技機能に発生機やしてある。ほせるを理由に聴かな影響として一作で衝突時間度はに発出った機能 即山府多年の無案である水砂ブー 増極して六萬國(内勢附金一萬頃) 方を通行中の遠城部境所国が山道 [甲山] 健康都市たらしむべく凡。合せ回に十二年度には流氓のは対。姚タクシー助平金は続ったが の個を貢はせた、助平金は大郎署

近く狩立て 段村を荒す

本の記載と代謝方法につう歌」間の歌劇と既たのであったが、新一会を開催していて打合歌が行はれる歌である。 | 別金の歌劇と既たのであったが、新一会を開催して中石単について打合歌が行はれる歌である。 | 別金の歌劇と変化のであったが、新一会を開催して中石単について打合歌が行はれる歌である。 | 別金の歌劇に支敵があったので見、せた

りして盛んに繰れ廻るので間は選

不變] 大同郡和岗砬元里一帶!

く猪がりを行つてゐるが自然的 協いないことを知つてか一向 「大印」近内に変質が現役長と殴っ

学を超越せる

さ川の不思議と

天龍峽の

操車場は今年中に用地買收

柳都に大工事頻

新大同江蘇橋は現大同江陝橋の下

横和十米的近に禁収される検定で

で る人月二十日これが催眠環撃を供で る人月二十日これが催眠環撃を供

てた自興船では近く運動の加張を

に加田氏就任 朝野魚崎 四の照数の瞬を検討して内の用いた (南川) の指述 であかなには「生 (第一期) の指述 であかなには「生 (第一期) の指して (第一年) であかない であかない (第一年) の指して (第一年) の指して (第一年) であかない (第一年) である (第一年)

鄭知事から金

武大の方が低く見え、北へ すると、その反對に北一中に、高山貴重繁草數と、健康回復の物質ま ||一下の陣場暗から一望||天然自然の歐士氣候の||こんなに丈夫に肥つた||をなして居るが、赤石|||仰遼の如き天龍峡の、|| 只管威心して、お蔭で

て、昔から『信濃の遊』 (2年) 山仲四と言はれ 北へと逆に流れて居る 様にハツキリ見えるの

野に出來ない名物で

その代質であることを

成程と御體験下さい。

有名ですから、離人も

酸され、他の地では絶

種の配合に依つて、醞一で添へて心状を下さる

方も日に多く、世間は

ロの大好所でます。

|七| 「坂へられて居る」身の人や、程気うすくが、と称へ、信州 | 「一」 て戻り そまに が、その理由は、未だ し燃巣の眼を見張るば らず、理節を超越した 不思議の質征として、

観光の客が、 只々威心 | 老袞で勢力のない人、 科學的に呼明されて居一ルク倦怠し易い人や、 て回復力の缺乏した人 頭を多く使ふ人、病後 頭がポンヤリ身體がダ

是進瓶小 総製師総帯機能が出から が戦略で、地径でしたので、 が戦略で、地径でしたので、 のの際はやがない。 のの際はやがない。 のの際はやがはからい。 のの際はやがはない。 のの際はやがはない。 のの際はやがはない。 のの際はなが、 のの際はない。 ののので、 のので、 ののので、 ののので、 のので、 のので、

りが即ち天龍峽と呼ぶ | 强壯劑として、朝晩に |血液循環のわるい婦人 などが、貴重なる改養 下さい。

信州伊那の谷特産 製法日米專資特許

酒本舖出張

具管威心して、お蔭で

のはないと理解なしに

れ、急解針て懸神の数、水清き、海拔三千尺、一个、伊那の谷を繭へ流。養命酒は、此の中部く

の日本アルプス連絡の

命酒の特産地である、

付き、質に基程よいも 要 飲すると、身體

が、雪と雲天

名別院の地で、解学一パイプト

越えた神秘的奇蹟がある

世の中には科學や理窟を

「藥草酒の効力

向に響かず

「中として客邸の通風球光を考慮し」一個有事の取合は玻璃勘穴なので、は軽節から金部に護する廿八米の一般四十米の足さ百米の長方形を広。所の水門に流れてゐるが、滅紅が、十四年の春の寝尾であり練言の機

水路は現態無線船に関水艦の三ヶ(なる路けで、発売すの完成は明和、市場が期出する跳である水路は現の場所は八角形とし25歳。による水場も30歳所述することに、の中央部にもみられない近代観験り交叉路の場所は八角形とし、2017年水の銭人はもとより内水。五千坤の公園地質が吸収されば壊り、土土・十二、十一八、八、四米となっよって外水の銭人はもとより内水。五千坤の公園地質が吸収されば壊り

至 于四百九十一四十段 支出: 干百卅九四八鎮多可級脚 後開軍新設多獅島鐵道

新潟州一十月一日から新磯州、

過劃整理の强材料をねらひ

即二個雑江及第二冊川江の二大線

の で関すった。 大学工及び平均30元年 、第二大学工及び平均30元年 、第二大学工及工程 、第二大学工及工程 、第二大学工及工程 、第二大学工及工程 、第二大学工程 、第二大学工工学

次原型内山田長金容監氏に大月二<u>「町長より監役五年の物換日後しが</u>

かりである。此のあた

入したトウモロコシは南州域からのをその関因が内地域が立場を彫

四復期等人 込みの人

後の婦人 Щ

東京市遊谷區上通四丁昌 扴 響地

避留よりも約1111里源進近いので北は球球、端川方面から南は江河市、駿北を地の龍船宝装し、昭和五六年の水湯高は貫に三十進を以つて施認して以来、各地運動の出入駅地にして、向魚駅の河源映應から敷みても新書碑は魚部の沙県艦としてその名が高く、 のみならず附近河川よりの砂利が港内に流れ込み畑められた閩南現在半分を占めや港に船と半身不廃の狀態に陥り所源の |編よりも約三|| 里海運近いので北は城津、 地された唯角も収を維持家の有限するほとなり、原水産物と共に逐年が用を示してある。新聞の舞野市の有限するほとなり、原水産物と大きある。新聞の翻り香味の有限するほとなり、原水産物と共に逐年が明まったことの 原にして然に離点類の収略も成ら言め長年が大きある。新聞の翻り産業は中国百八十七次同にして水産物主の育住を占み門産業で素化でよってより自合は、水産物主も収集 **写像してなけりほほそとして今は勿驚意首八拾六萬国に達する盛漁を誇り東海岸首位の漁港** したのである。なは前途は洋々として希望に知き素晴らしい。珍恨を粉取された祠であるが 准己新島開里程

第里の間を使日十回以上の聚合バスが一時間対外で往来してふる。 北は唐山新北郊の二ヶ洞に探し、西に新北流仏殿の二ヶ前に接続して居る、東北の一部は山地がであり南は北市郡の中衛部を占め、嬴文は市西二里十七町南北三里二十四町鏡前鎌四方里内外、中南は日本海に協み東 新島はもと用事配赤側と称する一般付で、明治四十三年社を聞と敬称すると共に、新聞と歌め今日に至った て、水部の原を助せして確に終る。市街,地は二十一餘の戸,敷稲比し、約二二年一前の戸,き鹿岸線をはて日本確に加し、阻大川は両角を貫渡し藤に継く、眉大川を発虹部は市城市中央部を が曲なうはの不成の危险類がし、人能は弦の損失時からず昭和七年度絶工数十六萬五千国を出して世間を 来し、海には、「船階時來泊し旅客貨物の輸出人あり、新一般に成立るの經濟型時間で類者する、國籍機場が落山間、豐山、新過波からは語り主象器の貨物自動車が接話 し倍に該當する驚異的 膨脹を示し、總人口約二萬を擁するに至つ 一声除明の荷物を吸收してある、實に新昌は海路交通の要衡になり路給皮路 に地の利を得てゐる、 正れるも高減少く似して単坦原別な単野で農動地に好適し破異型指の米竜地を以て知られ、 性語の形成用が脳如と見える、唐山町昌間が摩断島間、北西宮間等の四通大途の流路線を通じ蔵中北 川は渡船を以つて通行したが、昭和五年新昌協を架設し、現在築港附近新製量は市跡散正完成 町地となり、新昌田から新盟里方面を眺めば暗恋道路一度線に延び一目眺然として、近代的

作時が流に四方に開放された交通機の便を得て実散の大市型を遺成し、之に伴ひ近來新島市民の自覚は盛に産業市への傾向を鳴 。衝動に水産主料品を首位に共他は太半層家の副業品で之交派酸の推程に成し年産額九十六萬五千八百餘回であり、設産は年九萬 る急激に増加して、現在四十有條を所を算し間目を一新してゐる、市内記誌も昭和十一年八月より開題され、)前途は過度の急テンポに一層指揮を加へて急遽に上歩するであらり、影響物は米楽機馬鈴薯の順で年四十三萬八干條間に連 十條個・林龍六干四百七十條則等が大略軍なる生産物である

発信所兩官公認合が市民の挑談で總位第二萬間で昭和十三年度迄には襲下することになって居り、

文字通り

14、西梁副合、幼稚誠、組御門水布組合支部、常春原院、新聞智院、共の他治院の民間組合率の施配あり、町昌の<equation-block>親和市の資敵を見何する説である、新居何何郡が所、新島縣院官駐庇所、新島公守神清殿校、蒋常小聖校、 電海神通學校、

昭和十二年六月十一日 (韓機)時代

港新昌を語る座談會

现合支部设文据码比、海盗物商计路通道比、同法书上李泰提比、水面采卸基路比、过的流行率中由比。 网络加克沙克比、流水和西拉比比、阿米斯克沙克特语的比较级的一种,是不够加强企大块比。 医外腺检查检验检查检验 人名英格兰比 医神经炎性原氏,而及他果佛氏、此不断自然的激怒。 新昌進,新昌旅館」 人 新昌繁榮倉幹部その他

します。どうぞ新昌紫紫の霧に 唯今から開僧い「然し大正十五年成臨線が開通して 此の拠地と失つた如く見受けられ 一野幸氏 べませらの御宮の通り風吹は荒い として私から世路の健康史を申述

松坂支局長

かく多吸の方々から難心

一沿革現状、将来の再生完整部大・相當の股脹を示した過去を確め、 まして窓路に堪へません。常地一苦しく増加した。然し此の漁港は 帆船を財政としての設計で今日以一に來て数つたが、其の都度運 古忠線、四世線の開通後を想像す 初の施港低梁が行はれて水産額は る時には 一殊に関地一帯の呑吐むとしての機能時代に對しては幾くて後 いより、桃しくなる」 かゝり過ぎて手がつけられぬ」と 御用船の配着も新浦に指定替され ぬから新浦に陸援した荷を引取つ る皮肉な結果に陥った。日むを御 し荷役は困難だから是を隆軍の接 ら四十五年まで朝鮮取司合国

祖の守護性は可様な重盟で締結を進めて行き更いと思います 新昌港過去 小原想以外に言葉が無い此の 會澤氏 上来であった大正三年帝内絶替が

考へられぬ。元山は彫とし西胡歌港は元山、西湖津、新昌以外には

咸田の根で原地を用手とする

洩らさず各種の方面から充分に湖 に感しいのでありますから、震地

ますが、認識の程度は強くゼロ

奥の廣い港

李号垣

元老の影幸さんに新昌の歩みを御

政策はない意

用されず次第に荒騒して行く、 野道路も取修したので、奥地に 路として敗修され是に先立つて 北南間の五里は大正七年三季

線、山手線を比較調査の結果現底が、鉄直局としては海岸線、中央 成就締飾道で一種挫を來たし 五年から經費三干国を陳出して四 されるのは地元責権の問題であら みなと勧制起版の際に地

是によつて既生する単

れ、對内地質場の股路を來たし大 世界をすく、発展しつつあつたがに呼ら延波林神の陸揚げがあり、 出張所の設置を要望して承認せら 産みて、大正七八年頃には飛り 取引は殖える一方だ。此の情報 あつたものです を招來して労働者の被る常取が坦かりを失ふ。機能は資本家の移住 薬港寄附なら などまことに愉快な反動が

極力支援して記事上の便宜を殴つ

新昌座談會出席者

iii

献東地氏 本語で一番が記

り 李楽権、坂田【後列右から】 東新 張興《中朔右から】 推勝、金光洙 の行為、松坂、戴東春、李岐頃、文 の行為、松坂、戴東春、李岐頃、文

水産関節や地元

褐色

を可望して己まねものであります 継順せわばなられ、此の點には半

實現した漁港修業のあらたかな効 • 是ちやいかぬう後は海産物で動 動否も鉄道便で直接北西経由とな 題は空局者から御話があららから

昭和四年起工、昭和六年完成した一関教が製の不足分に對しては何程。年級数であつた結果昭和二年容級、うが、第一条指が完成して以来、 祝新昌紹介號

かが、北南は北谷都市の 一般の上野が野帯されるが歌がに近り、北南は北谷都市の 一般の上野が野帯されるが歌がられるが歌がいます。 配配し、金融を設力を 隠和郡し航節興器の伸続後の不完備に因り不 脱鍵と意販を呈したるとして派達物産集散地 新量繁榮會長 姜信 の母語であり本屋である漁港の母語であり本屋である漁港

烽火を舉げて、奉村一数週間 ずるものであります。 今や町 時に取ろその着版の逝さを聴し、質に同盟に堪へないと同 万十四處の修築に費手し、 昌は多年宿園の該事業成就に 着工されるとの新聞報節に保 も当が断島的は避難形として 一敗で単梁の一

説の影響して匿る處である。 紀工後に選択者が一種十倍に

是行「新昌漁業組合委託

英間集めたが、第二条窓の完成さ す後此の外形背職英屋校に大手間 でには是非十八學級にしたい。 即に對して、更に地元谷附金を 加を水配せられ昭和十八年度完成 次に公将移築に一萬六十四百四を 影響があつても、百六十名しか探 し得ね。そこで更に言葉級の も近く運動開始の豫定でありま 水田氏、昭和ル戦器であ 例前立
医院に七王國、駐在所移 今年などは四百歳名の入學志 この言葉版の頃

は荒れ難波船相次ぎ漁民の安定 防御場が低いから最大には港内も 現在の孤勝は狭くておい、

この市局戦正は一千大百月も

の傷なら、更に十萬でも二

築港を急げ

ます、本面は昨年四月一日面接

こゝで本面の概況を申し上

るが、天黒豊かならぬ此の港、 負擔それも五十名内外の買擔であ 居る現此の問題な港でこの圧制の

は説好にない

してども地元百倍を組織する心配 では貞撰し程る電力も出来たり

もある、全市民のポケットを辿に

漁塩が近いから入職所は選手機切

するにも描らず、此の聞くて成く

提過三本の新感費一英国際こ

いから取り敢す段権をかけよ」と 機は新昌より低 期便金过金五十萬國,共同五金, 命は仕込汚金五萬曜乃至八萬四、 製造水産組合』の貸出して居る食

私の組合「油肥

架橋したが、億三年で流失し現在 観練の整點が俗類の時代に遊費で は海岸から五里も上流の原昌北南 意見であつた。 毎年頭面とも映 続けて居るが、大正一四年献 というです。 になった成り第二条港が先決問 になった。 です はあるが此の謎では大型船は樊剛

間一般のみで不便、不利も時だし 越、一里を取得せわば不便で吐は らず何とか便法が顕常されるもの い。然し結局は時期の問題で遠か 析立に若手したから早晩敗修され 質症して概つた結果、工数七千四 一旦定されたので最も利性関係の 兪東層氏

淋は隣腹 居山の電路とれに機管引込線 第二弧粒

語神に過度なばかりでなく、**液**能 朝は陸原、夕は海鷹で出船入船に 5個日トラツタで搬出されるし、

六五退制方面に嵌つたもので、 橋を遵ぐこともいられる現態器の 八は構わ其の地に飛布し新昌自體

強振物を積んだ値で呼び出血する の水揚は廿萬國しか無かつたもの の八十四、曜川の六十四が但まつ もない虚がある。商業組合や前で て九十萬四の水揚を示すに至つた かつた。それか今日では

民の資機で現狀の如く完成した。 めた脱肉でする緊急さへ出來れば て鉄い港ちや排角道入りかけた用 して居る条本に質別する事が必要 も地ける是が第二系統を映画し初 間調査の上しと道が同節して臭れ 依る、漢漢を就みて居るが而に合 ねしまだ調査にも來れる翻かな日 何かしかの經費を捻出して人力に 和も四角所の大数網は趣動

日むを除す北南を迂回して居っか 是ちや延長九里の巡距離だ 里と云ふ傳載と景色で名高い

橋がほしい 李亨坦氏

つて思有としては、他に適当がない

一自原則定や確確契の設置もあ

数は奥山航道路段など各種の単準

民能成して生活も豊であり、

八百町歩の水田を有し際事政 人口二萬に近い中語半漁の村

木調長に陳情した虚が『五百メ

謝が實現して後の事だと

果、昨年間夜を終り既に設計

務中の急務であり補助法もあるに 脱他に鑑みて御新建造の影響は含

では安心出來ぬから、更に軍動を

てう。 次に野が除りに遠い、鉄道 | 虚がが角移住したもの」をがか

|作取の||で船の便がないから無費に適はれ こんなに新書態民は使への機に苦 て自由に出入出来ね上に、商品は められて居る、早く第二条

選する。銀行の 支配か 川張所と **心能の娘工に伴って、あの砂瓜後を比較して見たい。昭和六年** あの砂瓜が メンチ (練子) が山場優れた。 の後で扁賊。これも町白い壁焼れ 次段だが使ひ途はないが可白い を可称して機ばれ保慰ラインのまて元山での受機能費一覧な五十四 も製法も分られる様に損まれて 都干魚とし三千成様作ったが吸路 る。釣れただけ上 むまで、粉んで出荷した事がある 山に出かけ出戦権氏の関係を禁じ とれるから獲れるだけ返った。 開京大震火の直

新

昌

巾

着

網組合

咸

南

新

昌

港

舞氏 その頃の事です夕利益 本なと新聞の金級を遺骸なく削団 本みなと新聞の金級を遺骸なく削団 かせいたなきまして滅に有難うご られば日を以上です。明水西間に、まです、是おや仕事になりませ 大阪電か五十隻 明太原準には二百五十隻、佐藤

岸に麓の山を築い

大

ï¥.

頧

语 作 店

氮店

波点

邊關

管理治

總部三百萬國を一千百四にするこ 第二条数さへ出来がは河伯の水面 「一晩で待されるかも分らなが様 だから早く第二条権がはしい。五 間を作らう」 ア・カーラン アン 頭なけ出さら。所らした話です。

動を開始した。市

明和十年から選

金寶

an C

明白

小林罐詰工場

咸河斯開

配油肌、丘燥の

金光珠氏

強えました

肝油製工選

台灣氏

金正

損

長湖里工場監林・統商店

十七四関語し、今年は四十二四に

出語の一節を傾向です とは決して難事らやありません 觸流全昔物語 會澤氏

ける題の元組として沙でさん思い 枕ボロツァ綿で絞り切めたもので 二年が初進です。一萬丁も獲れま 新昌のには大正十 び 昭和七年信覧に城に昭和十年度び 歴 年は二百四五十年 しかなかった。 明和二年はしのご売位した時に映画版館 明和二年はしのご売位した時は戦 □ 塩を合併して弱質下山を設け常級・山地に移用して居るはですが、小玉・一会が深圧、・ 批製脱削の値、内 既正まで出来で用っ。徐く全皆の梁で埋り人間巡路が許通し市原の

ますか、発酵の

はきれいに理

本がははいます。

成版地

号線が数は

學学太郎松尚店

渡邊氏 第山や元山の間田 なら他力でも望え **載でなくもや人群せぬ今年十四代**なら他力でも覚えっが出歴に地元 漁港の如な利服かない折測や漁湖氏 ・ 売請に出来ても新品に他の

収益の出加を関つて地元

東衛星

来一船

^漆 具

压店

愈美 油肥製造

松村定置漁場

成型打造

りますわ

に金光珠

李佳

· N 古

光

ķŘ,

附

Pi

빏

磁淋

明年十二周町の 大になった そ

均店

魚魚廟組合

高いのは、一門の元の一部の一部の一方は、東京の大学となって、「あり」が、まない(も)

代表音 金 夏 四 代表音 金 夏 四

里と云上原説と景色で名高い「漁」新量かり東南二十町を行けば長調 色筋地の名を呼ぶ 山が被弦して吹みの僧説と共に玉 - 死も朝鮮な古の

> 従来新昌は刺繍 してほしいもの 即して居るが出

新 昌

肥

枓

製造同業組合

新昌明

太子製造移出組合

一日本でも記

米鼠。 肉能物吗,肝油肥,

台名特世

大

昌龍

藺 Pi

童

8

准 會

名勝古蹟

竟は観年大十四周如松野であるか。 総られた位である。 それに出込其 場けする。最近見えた原祖職合國 の絶への處は戦しい。と思心して で前浦、温湖、静脈か 方法を考究せねばなられ、此の話に就いても安易な金融。 網で獲れた。他退でい 龍口内間の時代に 初七十戦で買って吸消した神一面 上十銭と様を別つ

現在監轄の漁業 試製位の壁座にあったが、今日で は火製的物として不可能のものと 紙制型合の成立後他一四十銭に返 五年頃は生産過多で別名して収支 主として味です。 なり、仮路も强化された。昭和四 素でなけりや卵丸 機は年本湖町で 各種加設に地元資 存版室がさして されで二度とな これで二度とな の地元 東脊機器 か問きません 金田町する外は

咸

南

獅

昌 昌

新

釀

胸酮

≝ 所

咸

南新昌港

昌

回

福漕

柱店

有利に捌けて居ると暗信して居ま 又て居れば、路路の複響や調査も取四に新都に駆れた。海岸線でへ出来のに新都に駆れた。海岸線でへ出来 投資轉向必至 金性 の投資で、其の 然し現低の殿南 がおい、新日日第 私初代四長です かつたであら

諸羅 安 料食

工 營本 場罐預所社

京都市東九條

· 語 部 新 昌 工 四 業 株 式 會 可 縣 表 署

場社

だますから是で一階関節しま信篤氏 大龍お語も盛きた

御橋申上げます

船具、海肝油肥、

成 南 成 南 成 南 成 南 市産物商 南 組 新 昌 港合

間的、立體的

外金剛永朗莊海濱に

た。

中島 小泉科 院主中

病原原

晾大衆キヤンプの會

從來の。司法型。を打破

本町署司法主任が實施

世間に明らい卒業を致るのが養糕。原説中主商時に打けない犯いの表しの別記ではないと思う、融価の選択権するこぼが議主任は『むしろ』あか――今後整続も行き方を整へ、ものは単に高す、これが無線本米センやら本可認の可法解説を整、養親を消除してくれてあるとは思いる問題をつくる、そして罪にするを抱く格が弱いが、生成機能にす。養総に誤聴の呻方だ、成熟は十分、収入を加へる、凋べて総邦局に改を抱く格が弱いが、生成機能にす。

地でおが多いが、半局難然にダー 西地路な民衆から織はれ、刑事を 日語の地獄者でもあるかのやらに

力とか赤鬼と敬遠し、明い歌じ

祭の心臓が、消法部と云へば記

太陽々の知さをみせ、生態質線に新しい方向を減すことになつたとの知識の心臓が結びとに、成業の時の動表の肺が粘として保護院正や、近ころめつきり附えたが単純のために開闢された最も常の底のやらに世間から恐れられてあら神法徳の財団優をはかり、戦極のために開闢された最も生命の信仰・は成の心臓師の整定が戻を預から高度本町鉄線等では、時代の流れに様さして辞りの知らである。

を城大橋内に設立せんことを要望、味から記念印楽中の一つ記念問堂

し際気動致運動を起してある

百頭を輸入

しての人格を歴史に記憶させる感

年は外金剛永明莊海西に開くことに決定しました

東海岸外金剛永明莊唐滔

◇注意

ナホリヂン 専門新薬 へか用限)

皮屬泌尿花柳病

ことになりましたが、能楽より、あらゆる歌を張伽したキヤンブ狙を慰取したいと、本記遊ば繍を慇懃跋して間査の結果、今には京都為位へのサービスとして健年家族連れに向く、景しい遊消キヤンブの間を開催し、本年を以つて第十二回を重ねる

會員を募る 家族連れ歡迎

第二甲株金排込公告 第二甲株金排込公告

野野野門門科

隨意 雷電力化三市人院 京城岡崎町七

| ショックを駆へる少年心の険敵、司法主任) | の點』を破り、形心防止と鉄物に「を踊ることになった(葛真は「見の點」を破り、形心防止と鉄物に「を踊ることになった(葛真は「見の相の状態であから微楽の 同語は | 郷に力を指す明るい異想の成乳化

捕へて罪にする

それが能か

| 堂中であつたが、医州郡郡民間三一來することになつてあるので、野」ることになつた原宗也では配羊却の歌歌歌所を選「蘇釈から百飯の配羊が原軍師に入「鄜家への配料記録解判の副辞録解に力を入れてある | 国に決定した、來る八月十六日に | 著を得てて何とし

高洲から百班の配手が飯里削に入一鹏家への配封配在等に馬力をかけ、里に決定した、来る八月十六日に「着を待つて同計法の研究、指切、

城院三等社様、品域郷から現場までの受けません)この舎数は京城郷から品受けません)この舎数は京城郷から品

元山

道

事務

所

於於士二四年 7 乎及上 · 勇 京城安全町入口 日本忠確認 醫學博士 渡邊晋

さんは程度なる外傷で既に全感し

て合校し、正照だった書原順さん

エレ

職場にして掏る

前原に向ひ一同も続く安堵するに も原使け極めて良好で国三日削か ◇定員 百名 (家族連れの方を歌迎

◇申込 上月十八日禄り、住野、氏名、年陥明記の上、向貴を添へて本吐名、年陥明記の上、向貴を添へて本吐那、孫 諸施設費、其他に充労します。特権負別がは、不労の主義を持ち、

防護團の機材費に

國防献金を流用

社會の警導で防犯が第一義 二見司法王任は語る

る角度から眺め報作の一調件だけ 事件を聞に作用的にみず、あらゆ で他命を冠げたといふ考へを捨て **少地のて双卵の助機**・生立ち、

万を雙へ、刑事や取調べの餐官は

要をいろく、敵勢し何故事を犯す、「清、世に容れられない処理者の要をいろく、敵勢しの故事を行てゆき、歌に腹をつけた深原線なども、歌がとか、實程に力を向けてゆき、歌に腹をつけた深原線なども、歌がとか、既に本世名の司法等ではこ 人にも被害者にも疑惑の仕事である。

飛車群なも成次その間向にある、一た電標から特に設けたものである。人な心地で事件にあたつてをり、「せない明るい無線にしたいと云つ

眞犯人を看破る

堂々本町署に据付け

齋藤子記念講堂

既而には光線の作用で殺人の人。米域した衆田善三郎氏一行を辿へ、めてゐるが、原或帝大では故子除既鄰通の段と同じであるが、雜。故意賦予除の記念罪楽訓謝け八日。な伝詞のもとに驅觸に引合せを趣

トンタッチ

意義ある事務引継ぎ 切正式に補銀項引の群令を受ける 一齢めた富水さんは來る八月十五日 「いや」、水に細胞関語になりました、粉水とも自放しく、なくないのとなにも考へなくで、かいから、気持が禁になつた。
しかし非圧の人生行脚をやる私の間違には相対などのようないがあるか。

帝規行の珈琲に既代すること

門官の阿書のまと京水さんの後 が、在鼠時代からくせのない事務

家で、腰の低い即針振りから見て

将東された 国界の幸運 見引水 さんと新年日三年、総督被

『医の大星動で国語退職し、人』 は九日午前十時から受務局長器 | 機なものだ

それを使つて変色的の問題さしる程々名心様々ではある、問題さ一下は側頭氏)

る標本男でない野からいへば、な一撮くであらう(野真上江富永氏、

一郎氏は八日京城町学町にある社外事源長に祭飾した本所祭祀原田別で京畿遊野祭部南出駅から蔵北

原田警視寄时今度の異

カ酸船の埋査にも拘らず査としてのイヤハート機の消息は、アメリ でその姿を改して以来既に六晝夜 【ホノルル七月同盟】 南太平洋上

三十名

探つて預刑を辿りたいとの申込 剛山、平場と鮮内の名前古様を

夜來の豪雨 自動車杜絕

> わい」と配客係では今から鑑し み、『この調子では官僚が利き

> > **参照日 七月九日より十三日迄五日間**

毎日午前九時より午後五時迄

京城日報社外青閣にて

主催

ナト

日 申 報 社 かっぱん 日 報 社

すの 御利用をおすすめします。(治療費ハ三関デス)機を逸せず難病に苦しむ方は勿論離康で 長生を希望せに効果のある事は現代科學的に 證明せられて居りまずに効果のある事は現代科學的に 證明せられて居りまずに効果のある事は現代科學的に 證明せられて居ります。(治療費ハ三関デス)

【参名辭典】全北淳昌即是

順む合品に對しても原子料としてがとして金一封頂に原生を整つてがとして金一封頂に原生を整つて

1・リーアー型において統二時間ンド南方白八十組の料理ウインロ

| ヤハート機らしきものの別数だに | 木一社見図 (八日) 夏徳里 | 郷した (本日) 夏徳里 | 郷山、道路名館

曜山、漢陽各地とも自動性傾は社り即用的内の野川、大川、洪城、

温燥時間七日夜來の野雨によ

忠南各地被害

ん、きのふの大畑大さんと

富永さんと鹽原さんとが

相がプリノーと映る、異何に立つ「て語磁に過捗し、生息分析の絶大」の朝鮮との開始及びその政治家と けふ教學刷新の

城大が熱心に誘致運動

親則には犯人の職が聴るだけでこ

値面の方に直切の電灯をつける

中に鍵をはめこみ、個人を立たせ

性胎のボックスのやうなものト間

朝鮮和司令那變國那長、佐枝朝鮮

京城女高普生

意見は中上げられません思ひます。その上でないと私の思います。その上でないと私の

全を贈してゐるが、七日午後に至 り同艦がイヤハート女児を救助し

昭行を自む、早大型学記中 トのエレベーターを取門の職場に 倉庫破り捕る

松っまきゃう それや初耳です、耶件の真相を

の負傷快方に

証い人間連は態度さんの撃が局長 | 但引が附いてゐる、南洲関年氏時 | 心見だが、中味は武物、問題さん へだ、氏と射難的位置にある線の 朝鮮調管府學務局長心型」と云よ と彼らしい配節な言葉だ、除子は 見たことも聞いたこともない「位 ら彼の節令も朝鮮だけでは今まで 敬辱の振興に努力する! しかし相當な信念をもつて字品「具體的意見はこれからだよ、

かァノーシのはつきりしてゐる

て母艦出動 **捜査隊手を緩めす**

者の希望により左記の通りナト博生先生御渡鮮を戦争に多敷思

レス灸治療に應じて頂く事にな

れた側腕さんは度胸もあれば仕事(かと臓を下したからである、だか)「具態的意見はこれからば半点数量の勢元縮のパトンを被さ(んが三酸端で、最長の停子にどつ)んの局長心部就後の膨動も 9手ツ取り早い、結局 0イエース

一ヶ月に亘って開州、京城、 一何れも二年二百名の豪勢さ

今般東都炎療界の最高権威本村

く常局は次の如く謎つた

び掃海艦スワン駅は南太平洋の窓 **火ない、沿岸竪岡艇イタスカ駅及** 源にもまれ連目の努力にも抱らず 住町不定町科一和金襴男("、ほき

市で開催を表する

が、イヤハート機に関する国人は 飛行機六十三台を 未だ何等音報を聞きない

る一月十七日南大門通り二丁目下 野瀬県松瀬が派込んで來ること 品間、島間の運輸事務所主観の つたが、早里今秋を期して間山、 大好的で館哨視祭憩と一時期

^經本村博生先生

た、但し海軍省には米だ情報はなってニックス群島方面を依轄する **売師に一版の光明を興へるに至つ | 未明を期しのウランド略一部より |**

る灸治療の

大西州理事の承認を求めず、全部

早速兩者を調査する

佐枝朝鮮軍司令部愛國部長談

| 「大学の関係を表現し、 | 「本人の | 「本人の | できます。 | できます。 | できまず | できまず | できます。 | できまず | できまず | できます。 | できまず | できません | できます。 | できません | できません | できません | できます。 | できません | できません | できます。 | できません | できません | できます。 | できません | できまなん | できまません | できまなん | で

會

ウランド部一帶を吸なく膨減機を主力艦コロラド競は留太平洋上ハ コロラド駅がイヤハート観敦助 令マーウイン提びより来なけれに成功したとすれば、先づ第一 ばならぬが未だ何も報告はない報としてホノルル海軍観子所司 方絕望說

め、相称一人と共に府内各デベー **金白四十五皿をスリ取つたのを初**

中であるが何親が八日中に引取り 出した。「千九百国のももまた二千 か熱いところをみせ本町著は你鞭 られた、男の優には親の金を持ち 三百九十四がつてゐた、この二人 評判の新胃腸薬

國富閥測所長、黑霄署長、結城、

それは初耳

【ワシントン七日同盟] アメリ

消化不良・腹痛急性、慢性の下痢 のみやすく、副作用なし 関格師る低限/(一三三蛇) れつ。成人 二〇 飼 九つ。成人 二〇 飼 二七〇 成人 二円玉〇 平店にあり

村田平岡知事に回載で承認を求め 孤用すべく永井府野は<u>岩田秀</u>大郎 | 萬府民の経際を深めない愛国心を 受理した一千八百四の國防献金を の壁が見まつて來た 酷みつけるものであると新く非観 財したが、米だに解決されず、十一時の補助金で代埋めをすることを

一説傳はる

同常和山田徹城郡でしの二人は七



安中 さん人用 総格左梁 中 さん人用 総格左梁

虚析宣大平町二五原衆手相俊(**) 大金持逃げ 男女補まる

日午後十時三十五年君列爪で京四

に來たところを本町製取に取押へ

、早く旅沙するのも、外の胃臓療と

また下痢便がどうしても治らな ませて下さい。 ー

校 正 師ごは明代世紀 一世 員 物理等のは、大田のでは、 大田のでは、 大田ので

- 他を起す。 子さんの ハライタ
- ※ 市口条内

- 思い船のはやる夏は、全く油頭
- 会に殴り特に登画にて**規模で** 関本十段間名は一回位に五十 政治料金は一回位に五十 正城治学・五学的一回五行

午後二時女子部十五日(日)午期、球選手腕大齊は八月十四日(土)朝鮮卓球協會主催第四回金朝鮮卓

月廿七日本町三中弁百代店エンベ

町第に連細された「一般を働き八日本 一般を飲み出した外形内の間店の食

ーター内で乗客のポケットから現 殿北生れ住所不定被信加「とで五

『死んでも

離れぬ

卓球選手權

八月午後京帰明治町的近をちろつ | 子原用達部の食卵を破りミシン機

千五百圓稼いで御用

く男を飼路署の金刑がが調べると